

## 【別紙】

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和4年度 第3回理事会別添資料

2022.7.18（月）20:00～21:26

会長挨拶：皆さんこんばんは。遅い時間にも関わらずご参加いただきありがとうございます。私が会長になって4年が経ちますが、ボクシング連盟は他の競技団体と違って、非常に遅れた状態に現状に至っています。まだまだ他の競技団体から見た時には、未熟な団体と感じると思いますが、今期新しく理事になられて、これから二年間というものがボクシング連盟として非常に大切な二年間となると思いますので、皆さん協力して頑張ってください。よろしくお願いします。

### 1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

#### 1) 決議事項

##### 1. 会長（1名）の選任

仲間議長：先週送付した理事会招集通知に則って議事を進める。

決議事項であるが、総会の際に出来なかった会長の選出と副会長、専務理事の選任まで進めたいと思う。また、委員会人事について決議は採れないが、委員長に関しては、再度再任という形になるが、現行理事が新しくなったので各委員会の担当理事について、皆さんに案をいただいて決めていければと思う。会長の選任になるが、LINEグループで話しをしたが、現職の内田会長が立候補されている状況である。招集通知を送付する時点では、他の立候補者や他薦の候補者は居なかった。ここで再度確認するが、内田会長以外に立候補若しくは他薦がなければ、内田会長の信任投票となるがどうか。

（立候補、他薦なし）

仲間議長：立候補、他薦がないので、内田理事の会長信任投票となる。

内田会長のこれまでの実績に関しては、先日送付した資料のとおりである。内田理事の所信表明をお願いします。

内田現会長：先ほど申し上げたようにボクシング連盟は、他の競技団体と比べて遅れています。様々な資格の問題であったり、規程の問題であったり、遅れた部分を取り返して行か なければならない。

今までのスポーツ競技団体は、上部団体の補助金やスポンサーの寄付に頼って活動出来ていたと思う。ボクシング連盟として、これからは自分たちの価値を上げて行きながら、独自に資金も確保できる団体にして行きたいと思っているのでよろしくお願いします。

仲間議長：新しく理事になられた方もいるので、内田理事に聞きたいことや、確認したいことがあれば、この場で受けて信任投票に進みたい。

（質問等なし）

仲間議長：対立候補もなく、質問等もないので、内田理事の会長信任投票を行う。過半数以上を持って内田会長の信任となる。

内田理事を会長として支持しない方は挙手をお願いします。

（反対者なし）

仲間議長：反対者はなく、理事23名中から、内田理事が三期目の会長として信任された。内田会長、再選ということでご挨拶をお願いします。

内田会長：私自身も至らないこともあるので、皆さん自由に発言して色々と意見を言って

いただけると助かる。

ボクシング連盟は、新たに独自に資金確保するという考えを話したが、そう  
いった中で「BOXE」というものを作っている。その説明も後であると思う。

## 2. 副会長（若干名）と専務理事（1名）の選任

仲間議長：引き続き、副会長、専務理事の選任を行う。

会長から推薦をいただき、候補者から挨拶をいただいたのちに信任投票とした  
い。

内田会長：副会長は坂巻理事・木庭理事、専務理事は仲間理事にお願いしたい。

仲間議長：会長案に対してご意見はあるか。

（意見なし）

仲間議長：お二人にご挨拶をいただき信任帳票としたい。

坂巻理事：残りあと一期、内田会長の援護をさせていただけたらと思う。よろしくお願  
いします。

木庭理事：内田会長から推薦いただいたが、皆様がよろしければお引き受けしたい。

私は、選手、指導者とちょうど50年日本のボクシングを見てきている。内田会  
長の4年間の仕事振りを見て、内田会長が会長をされるなら応援をして、皆さ  
んと一期二年間をボクシング界のために頑張っていきたいと思うのでよろしく  
お願いします。

仲間議長：坂巻理事を副会長として支持しない方は挙手をお願いします。

（反対意見なし）

満場一致で、坂巻理事の副会長就任となる。

木庭理事を副会長として支持しない方は挙手をお願いします。

（反対意見なし）

満場一致で、木庭理事の副会長就任となる。

仲間理事：続いて、専務理事として私を推薦いただいたのでご挨拶させていただく。

内田会長体制となって、一期目は理事、二期目は専務理事とさせていただい  
た。私は法律の専門家でもなく、スポーツの専門家でもない、本職は医師であ  
る。専務理事が私に適しているかどうかわからないが、内田会長の下、ボクシ  
ング連盟の改革に協力して欲しいと頼まれ理事就任となった。会長からもう一  
期やって欲しいと言われたが、本職も忙しく断ろうかとも思ったが、内田会長  
が必要としてくれているのであれば、もう一期一緒に頑張ろうと思った。専務  
理事は、本来常勤で事務局内にいる人がやった方が良いとは思いますが、現状で  
は難しいと思うので、非常勤でも信任していただけるのであれば頑張ろうと思  
う。よろしく申し上げます。

仲間議長：仲間理事を専務理事として支持しない方は挙手をお願いします。

（反対意見なし）

満場一致で、仲間理事の専務理事就任となる。

仲間議長：決議事項としては以上で決議されたが、新しい理事の方も居られるので、質問  
等あればお受けする。

成松理事：2019年にアスリート委員会を発足させるということで、自分に委員長になって  
欲しいということで委員長を受けた。メンバーの選出について質問したい。現  
在連絡の取れないメンバーが一人居る。LINEで何カ月も既読が付かない状況  
で、恐らくブロックされているだろうと思う。そういったメンバーと今後一緒

にやっけて行くに当たり、個人的に信用問題もあるのでどういった対応をして行けば良いか教えて欲しい。

仲間議長：新理事になったので、委員会体制も基本的にはリセットされる。継続性が必要であれば委員長やメンバーを継続して選ぶという形になる。会長が決まった時点で、新しい理事会で新しい委員長を選んで会長が委嘱する形になる。成松さんは、アスリート委員長枠で理事に選ばれているので、再度新しいアスリート委員長として2022～2024の副委員長と委員を選出して貰う。成松さんが一緒にアスリート委員会をやっけて行くに適したメンバーを選べば良い。

成松理事：アスリート委員会の規約を教えて貰ってないが、10名程度でメンバー構成をして欲しいと最初に言われた。現在女子4名、男子5名の合計9名居るが、新しくメンバーを選出するに当たり女子5名男子5名の半々で選ぼうと考えるが、自分の判断で決めても良いのか。

仲間議長：この後の話しのところで、理事会の中での担当理事という形で提案させていただく。そのメンバーについては、担当理事と相談して決めていただくのが良いと思う。

※各理事より自己紹介を行った。

## 2) 審議・報告事項

### 3. 委員会人事について

仲間議長：理事の再編の伴い、委員会の委員長や委員の再編も行う必要がある。

まずは、理事会の中で各委員会の担当理事複数人を決めて委員会と理事会とを繋ぐ役割を明確にしていきたい。素案をお示しするのでご意見をいただいた上で、書面決議に諮りたい。

佐藤理事：強化委員会の担当理事で泉監事が枠外に記載されているが。

仲間議長：重要な委員会なので、ニュートラルな立場で発言をしていただくことも必要かと思ったので皆様のご意見を伺いたい。また、複数名の理事で担当することについてのご意見を伺いたい。

杉崎理事：複数で担当することに賛成します。

質問ですが委員長はこれから決定ということによろしいのか。

仲間議長：委員長は担当理事決定後に決めていく。

守屋理事：私は3つの委員会の担当になっているが多すぎるのでは。また強化委員会の担当にもなっているがボクシングは素人だが大丈夫なのか。

仲間議長：別競技の視点からという事も考えましたが確かに3つは多いので強化委員会は外れる方向で検討します。

泉監事：私もトレーナーなので強化委員会からは外れた方がよいと思う。

須佐理事：担当理事には正副を決めるのか。私はアスリート委員会に入っているが、女性を入れた方が良いのではないかと。

仲間議長：アスリート委員会は役員が多く入らない方が、発言がしやすいということもあり選手に近い立場で須佐理事のお名前をいれているが検討させていただきます。

ここで個別の議論をしていくと時間がかかるので、まずは担当理事を決めることをご理解いただき、各担当については後日、ご意見をいただきながら調整を進めていきたい。

井崎理事：理事の役割を分担していくことは賛成である。それと同時に重要なことは、今まで

は縦割りであった部分を変えていく必要があると思う。例えば、強化は強化の中でクローズしてしまう部分があった。具体的には合宿や試合があるときに広報戦略委員会にフィードバックしてくれれば空港に報道が足を運んでインタビューを行ったり記事にしたりすることも考えられる・委員会同士の連携が必要であると考える。

室伏理事：委員会ごとの議事録は共有されているのか。

仲間議長：委員長・副委員長のLINEグループがあり、その中では共有されることもある。

井崎理事：以前は、各委員会が頻繁に議事録を共有していたが、負担も大きく少なくなっている。日連のホームページの活用も必要ではないか。

仲間議長：必要な情報が共有されるシステムの構築が必要かと思うので検討していきたい。

## 2. その他

### ◎BOXEの進捗状況

内田会長：ボクシング競技をダイエットにつなげるアプリを開発している。

ボクシング連盟や他の競技団体への寄付を目的に開発を進めている。

黒木氏：我々は画像解析を行っている企業であり、ボクシング連盟と連携してフィットネスを通じてアマチュアボクシングの面白さを伝えていきたい。

内田会長：BOXEは、ボクシングの動きを取り入れた9段階のフィットネスプログラムで、初心者から上級者までダイエットを行うことができる。もう少し形が整ってから皆様にお見せしたいと思っている。

### ◎委員の選任について

安川理事：恣意的な運用をしないために理事が入るという理解だと思う。加盟団体規程も制定に向けて動いていると思うが、地方とNFの動きを円滑にする目的もあると思うので、各専門委員会の委員には全国9ブロックの代表を1人以上は入れた方が良いのではないか。

仲間議長：現行では理事会で選出された委員長が委員を決めている。医事委員会やブロック協議員会は各ブロックの代表者で構成されている。委員会のよって特色があるので一概には言えないがいかがでしょうか。これに関しても今後議論を進めていく必要がある。

### ◎LINEグループでのファイル共有について

山口理事：LINEグループでファイルを共有していただいているが有効期限がきたら閲覧ができなくなる。

仲間議長：各自でダウンロードしていなければ有効期限が切れてしまう。

保存ができる形が望ましければ検討したい。

委員会等の活動報告等は日連のホームページで閲覧できるようになっている。

### ◎第76回全日本大学王座および第9回全日本UJ王座決定戦について

池端理事：8月27日28日に大学王座と・UJ王座が開催される。大学王座はIBA9階級11名で実施されるため、東西の登録者数からフェザー級とライト級の2階級を2名のエントリーとして実施する方向で進めている。

大学王座が終了後に、2日間でUJ王座を行い、中学生の部は、東西代表者とシード選手で最大4名のトーナメントとなる。

以上